



～沖縄の秋を彩る「那覇大綱挽まつり」旗頭行列に議員も参加～ (10月8日)
(他に各地域の旗頭行列に参加した議員もいます)

9月 定例会

平成29年9月定例会は、9月1日から10月4日までの34日間の会期で開催され、平成29年度那覇市一般会計補正予算、条例など42件が可決、認定及び同意されました。

平成29年度那覇市一般会計補正予算や条例制定等を可決及び同意、平成28年度那覇市一般会計歳入歳出決算等を認定



「市民演芸・民俗伝統芸能パレード」で本市関係者とともに (10月7日)

会議の概要

◆9月1日(開会) 提案理由聴取

市長から提案された27件の議案及び1件の諮問について、それぞれの所管部長から提案理由の説明が行われました。

◆9月12日 決算認定議案

一般質問の終了後、追加議案として、補正予算議案1件と平成28年度那覇市一般会計歳入歳出決算等の認定議案8件が提案され、それぞれの所管部長から提案理由の説明が行われました。

◆9月14日 人事案件の同意

一般質問の終了後、人事案件「那覇市農業委員会委員の選任について」9件及び「人権擁護委員候補者の推

薦につき意見を求めることについて」が採決の結果、全会一致でそれぞれ同意されました。

次に条例議案及び補正予算等の議案に対し各議員から様々な質疑があり、審議の結果、それぞれ所管の常任委員会に付託されました。

◆9月25日 議案の表決

総務、建設、厚生経済及び予算決算の四常任委員会から付託議案の委員会審査報告書が提出され、それぞれの委員長から報告がありました。

採決の結果、総務常任委員会関連議案は3件の議案が可決、建設常任委員会関連議案は1件の議案が可決、3件の議案が同意、厚生経済常任委員会関連議案は3件の議案が可決されました。

最後に予算決算常任委員会関連議案は6件の議案が全会一致で可決されましたが、予算決算常任委員会で賛成多数により、修正可決された平成29年度那覇市一般会計補正予算(第2号)については、委員長(審査報告、質疑の後、討論を行い、採決の結果、賛成多数により、委員会の修正案が可決されました。修正案の

◆9月26日 追加議案の提案

平成29年度那覇市一般会計補正予算(第4号)(衆議院議員選挙関連予算)及び高良小学校校舎改築工事に係る工事請負契約関連4件の合計5件の追加議案が提案され、それぞれの所管部長から提案理由の説明が行われました。

◆9月28日 補正予算案(第4号)の表決

平成29年度那覇市一般会計補正予算(第4号)(衆議院議員選挙関連予算)の議案は、委員会への付託を省略し、採決の結果、全会一致で可決されました。

高良小学校校舎改築工事に係る工事請負契約関連4件の議案は、所管の教育福祉常任委員会へ付託されました。

◆10月4日(最終日) 追加議案の表決・平成28年度那覇市一般会計歳入歳出決算等の認定議案の表決

教育福祉常任委員長から高良小学校校舎改築工事に係る工事請負契約関連4件の付託議

案に対する委員会審査報告があり、採決の結果、全会一致で同意されました。また、予算決算常任委員長から付託議案の委員会審査報告があり、採決の結果、上下水道事業会計に係る2件の議案が全会一致で可決及び認定、特別会計に係る平成28年度那覇市歳入歳出決算等の認定議案7件がそれぞれ全会一致で認定されました。

しかし、平成28年度那覇市一般会計歳入歳出決算の認定議案については、予算決算常任委員会(原案に反対の討論があり、同委員会の採決では、賛成多数により原案が可決の結果でした。

また、予算決算常任委員長を除く四常任委員長から、審査中の事件につき、閉会中継続審査の申し出があり、採決の結果、全会一致で継続審査に付することに決定されました。陳情事件の3件は、全会一致でそれぞれの常任委員会と同様の結果で採択又は不採択されました。新規1件の陳情は、所管の委員会へ付託され、閉会中継続審査に付されました。



平成28年4月に開園した「いずみのもり保育園」

1 市長の選挙公約の着手率、進捗率について伺う。
2 校区まちづくり協議会について伺う。
□市長・関係部長
1 公約については、116項目のうち、110項目に着手し、着手率は95%となっている。進捗状況は、市政



ニライ
翁長雄治

各会派の代表が
市政をたずねる

代表 質問

市長の選挙公約の着手率、進捗率について

質問と答弁の概要を掲載しています。

運営の一丁目一番地に位置づけている待機児童解消の問題が平成28年4月以降に認可保育園34施設を開所したことから、平成29年4月現在、待機児童数は約6割減少している。そして、平成30年4月には計画上の待機児童数は、おおむね解消する見込みとなっている。また、市政運営の二丁目一番地である経済産業の振興については、施策展開に必要な広報の強化を図るとともに本市の中小企業の経営実態を調査し、経営基盤強化に資する具体的施策の提案につなげていきたいと考えている。

2 本市では、平成22年度から26年度まで、小学校区コミュニティモデル事業を実施し、その検証結果を踏まえ、平成28年10月に「小学校区コミュニティ推進基本方針」を策定し、校区まちづくり協議会支援事業に鋭意取り組んでいるところである。当該事業は、校区内で活動する自治体を基盤にPTCAや個人、

海岸近くの小中学校の避難訓練及び公園管理について

ニライ

永山盛太郎



1 海岸近くに小学校、中学校あわせて4校あるが、その避難訓練はどのようなになっているか伺う。

2 公園管理について① 漫湖公園の外灯設備について伺う。

② 公園遊具について、ローラーコースターやスリー・オン・スリーのバスケットコートの施設を広い公園につくれないか伺う。

□関係部長

1 沿岸部の小中学校の地震津波避難訓練については、地震発生時、各学級担任の誘導のもと運動場に一次避難する。さらに津波警報が発令された場合は、学校近隣の高いところにある公園や建物に二次

団体等が連携・協力し、地域課題を解決していくことを目的とした協議会の設立を支援し、運営についても協働で取り組む内容となっている。



新都心公園のスリーオンスリー・バスケットコート

避難する。その際、津波到達時間が早い場合には、校舎屋上の避難施設に避難するなど、津波の状況に応じた対応ができるよう計画している。

2 ①現場を調査したところ、ジョギングコース及び園路について樹木の繁茂等による照度が低下している箇所が確認されている。今後、照度の確保に向けた剪定作業等を適宜進め、公園利用者が安全で安心して利用できるよう努めたい。

② スリー・オン・スリーのバスケットコートの設置については、結構な音がするので、周辺が住宅地域の場合に苦情等もある。今後、ニーズや多様な意見を拝聴し、周辺地域の方々の理解を得ながら場所を検討していきたい。

議会傍聴の方の本庁駐車場料金については、1時間を超える分は割引券を発行いたします。
議会議務局（4階）の受付に、申し出て下さい。

オスプレイの一連の事故について

ニライ

上原快佐



わせた生活を強いられている。

那覇市民の生命と財産を守る立場から建白書の原点の1つであるオスプレイの配備撤回という主張を続け、強い気持ちで取り組みを進めていく必要があると認識している。

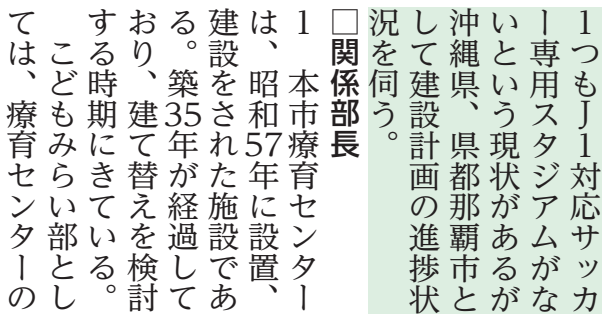
2 支援員の給与の増額に直接つながる事業やその他の処遇改善事業の導入に向けて検討しているところである。

3 事業を廃止したことでにより利用者のサービスが途切れてしまう可能性があり、廃止する事業所は、利用者に継続的にサービス提供ができるよう別の事業所へ引き継ぐ等の対応が求められている。

□市長・副市長・関係部長

1 オスプレイは、度重なるトラブルや緊急着陸等の報道がなされており、県民の米軍及び日米両政府に対する不信感は一層強くなっていると感じている。

米軍普天間飛行場所属のMV22オスプレイは、那覇市をはじめ県内各地や全国の上空を飛び交い、一歩間違えば市民・県民・国民を巻き込む大惨事につながりかねず、住民は常に墜落の危険性と隣り合



米軍普天間飛行場のMV22オスプレイ

療育センターの体制強化、機能強化及びJ1対応サッカー専用スタジアムの進捗状況について

ニライ

清水磨男



1 療育センターの体制強化、機能強化が進んでいないと思う。当該施設は、古くてこれ以上人数を増やせない。施設の建て替えが必要と考えるが、市長の1期目で掲げた公約でもあるので、任期中にその道筋をつくるべきだと思うがどうお考えか。

2 沖縄県には現在、1つもJ1対応サッカー専用スタジアムがないという現状があるが、沖縄県、県都那覇市として建設計画の進捗状況を伺う。

□関係部長

1 本市療育センターは、昭和57年に設置、建設をされた施設であり、築35年が経過しており、建て替えを検討する時期にきている。こどもみらい部としては、療育センターの



奥武山陸上競技場の現況

建て替えについて機能強化の観点からもその重要性を認識している。本市のファシリティマネジメントの考え方を踏まえて全庁的な公的施設整備の中で引き続き検討していきたい。

2 J1対応サッカー場について、現在、FC琉球は、本市もホームタウンに含まれているものと考えている。昨年度、沖縄県において、基本計画の策定に向け、県・市及び学識経験者や有識者、サッカー関係者が構成される検討委員会が設置され、昨年11月の第1回開催から今年の8月まで全6回開催され、基本計画策定に取り組んでいるところである。

北朝鮮の核実験、弾道ミサイル発射は到底容認できない。対話と協調による平和的解決を

日本共産党

古堅 茂治



1 北朝鮮の核実験、弾道ミサイル発射は、世界と地域の平和と安定にとつての重大な脅威であり、国連安保理決議、6カ国協議の共同声明、日朝平壤宣言に違反する暴挙である。軍事的な挑発は直ちに中止すべきである。

2 核兵器禁止条約が、国連加盟国の3分の2の122カ国の賛成で採択された。条約は、核兵器の使用や、開発、実験、生産、製造、取得、保有、貯蔵などの禁止と、使用をちらつかせて脅すこと、核抑止力も禁止している。核なき世界へ向けての扉を開く、画期的な核兵器禁止条約採択への市長の見解を伺う。

3 物流、観光が飛躍的に伸び、那覇空港の役割はさらに増大する。しかし、2020年に運用開始を予定する第2滑走路が完成した後も、那覇空港の航空機が発着できる能力（滑走路処理容量）は、現状の1・17倍にしか増えないことが明らかになった。滑走路が2本になれば、軍民共用で過密な那覇空港の諸々の問題が解決されたとの説明が成り立たない。見解を伺う。

4 那覇市が主催となった那覇市戦没者追悼式を活用して、平和行政、平和教育をさらに積極的に展開すべき。見解を伺う。

平和講演会、映画祭、音楽祭、美術展、文化祭、小中学生の平和メッセ、ジ展など企画したかどうか。

1 世界の平和と安全を脅かす行為は到底容認できない。国際社会との対話と協調による平和的解決を望む。

2 基本理念として平和の希求を掲げ、核兵器廃絶平和都市宣言を行い、日本非核宣言自治体協議会、平和首長会議に加盟し、核兵器廃絶と恒久平和の実現を訴えてきた。今後も、核不拡散と核兵器廃絶を強く求めていく。

3 滑走路が増設されても滑走路の処理容量の大きな増加につながらず、増設本来の効果が十分に発揮されないということ。揮えられないということであれば、今後の沖縄県の経済成長等を展望する上で大きな課題が残るものと認識している。

4 那覇市戦没者追悼式を本市が主催し執り行う中で、平和に関連したいろいろなアイデアが生まれ、今後の取り組みが広がるものと考えている。

子ども医療費無料化中学卒業まで拡大

日本共産党

湧川 朝渉



1 子ども医療費の無料化は県と連携して、病院窓口での支払い、現物給付にすべき。市の独自施策としても、通院の対象年齢

2 那覇市、浦添市、久米島町、南大東村、北大東村の5市町村で構成する那覇採択地区協議会が、来年度から使用される小学校の道徳教科書に教育出版を採択したことに、教育関係者や市民から批判がある。道徳教科書の決定過程を問う。

3 議事録・委員名を公開すべき。見解を問う。

2 選定委員会では、研究員がまとめた調査資料と、プレゼン資料、巡回展示会での意見をまとめた意見書をもとに協議し決定した。

委員名は、今後、採択地区協議会と調整したい。議事録は、9月半ばに公開を予定。

3 学校給食は学校教育の中で、児童生徒が将来の健全な食生活をみずから営むことがで

きる知識等を養うための役割を担っている。教育委員会としては、経済的困窮世帯へは、生活保護や就学援助制度で公費から給食費を全額援助しているところ

ろであり、給食費の無料化は非常に困難であると考えている。

将来を担う子ども達の成長のために

大規模災害対応のため消防職員を早急に増員すべき

自民党

吉嶺 努



① 消防職員の定数と実員数及び他中核都市の実員数を伺う。

② 近年の救急車の出動件数、現場到着所要時間、他都市の現場到着時間を伺う。

③ 実員数が定員数に見合っていない。適正化をどう進めるか伺う。

④ 消防職員適正化計画を作成し、平準化して10年、20年の期間で増員したい。



那覇市中央消防署 神原出張所

那覇市国民保護計画について

自民党

大山 孝夫



国民保護計画について、以下伺う。

① 那覇市の責務対象とする事態

② 国民保護措置に関する啓発の実績と成果

③ 武力攻撃事態及び緊急対処事態を対象としている。

④ 4月26日開催の定例記者会見で、弾道ミサイルが発射された場合のとりべき行動について、市長から市民へ周知を図つ



弾道ミサイル落下時の行動について（内閣官房国民保護ポータルサイト）

新文化芸術発信拠点施設建設について

自民党

大嶺 亮二



新文化芸術発信拠点施設建設について伺う。
① 総事業費
② 3候補地ごとにコスト比較をしたか。
③ パブリックコメントの結果
④ 広く市民の意見を取り入れ、建設予定地を再考する余地があるか。

□関係部長
① 概算で約138億8千万円である。
② 候補地選定段階では基本設計がないため予算算定できず、コスト比較は行っていない。
③ 11人から20件の意見



施設建設予定地前の一銀通り

保育行政について

自民党

新垣 淑豊



① 保育行政について伺う。
待機児童の人数

② 現在定員割れを起している園の数とその定員数
③ 病児・病後児保育の現状
④ 発達支援児童の支援
□関係部長
① 本年4月1日現在で200人。1園のみの希望の場合は、待機児童から外している。

佐藤惣之助の詩歌碑移設問題について

自民党

久高 友弘



佐藤惣之助の詩歌碑移設問題への対応次第で今後の川崎市との友好関係の行方が左右されると考える。
① 佐藤惣之助の詩歌碑移設を考える会より提出された陳情書が、平成28年12月15日に厚生経済常任委員会で審議された。当局の答弁内容を伺う。
② 首里城公園レストセンター前への移設計画はどうなっているか。
③ 移設するのかどう

か、伺う。
□副市長・関係部長
① 陳情書に川崎市議会から多数の署名が添えられているので、川崎市民の声として重く受けとめ、移設に向けての対応を第一に考えている旨答弁した。
② 沖縄県担当課から、公園整備に支障がある



虎瀬公園の佐藤惣之助の詩歌碑

で配置した場合は、人件費の一部を独自に補助している。



平成28年4月に開園した「美ら夢保育園」

② 保育士不足を要因とする場合を含め93園中46園、定員と利用数の差は541人である。
③ 市内3施設における平成28年度の利用者延べ人数は2517人、補助実績額の合計は3262万7千円である。さらに利用しやすい環境を整えることが課題だと認識している。
④ 平成29年8月現在、計174人を受け入れている。私立認可保育園及び公私連携認定こども園が保育士を追加

福祉行政と教育について

公明党

喜舎場 盛三



3 住宅確保要配慮者の方々が民間借家へ円滑に入居できるようにどのような施策があるのか伺う。
□関係部長
1 平成29年4月から開始した那覇市介護予防・日常生活支援総合事業のうち、介護予防・生活支援サービスは、生活支援サービスは、要支援1・2の認定者及び基本チェックリスト該当者が利用するサービスである。要支援1・2の認定更新に伴い、従来の予防給付から介護予防・生活支援サービスへ順次移行している。
2 各学校においては、ため移設許可はできないとの回答を得ている。
③ 本来あるべき姿に戻すというのが基本的な我々の考えである。

1 本市において本年度から開始した要支援1と2の高齢者及び事業対象者が利用する介護予防・生活支援サービスの実施状況を伺う。
2 教育現場における自殺予防対策を伺う。

ため移設許可はできないとの回答を得ている。
③ 本来あるべき姿に戻すというのが基本的な我々の考えである。

新文化芸術発信拠点施設整備事業について

公明党

糸数 昌洋



1 新文化芸術発信拠点施設（新市民会館）整備事業について伺う。
① 現在の進捗と課題。
② 市民会館建設は地

域だけでなく、那覇市民全体の問題であり、市民への説明と情報共有が圧倒的に足りない。市内4地区での市民説明会の開催を求める。
2 県が示した「子ども医療費助成制度」の見直し案及び、一部自己負担金廃止への本市の対応について伺う。
3 中期財政計画における今後5年間の財政見通しと財政運営について伺う。

ている。また、日常の児童生徒とのかかわりの中から教師の観察等を通して、児童生徒1人1人の悩みの把握と日ごろから欠席の多い児童生徒の把握に努め、教育相談の充実や命の大切さを育むために道徳教育の充実を図っている。

さらに、悩みを抱える児童生徒の支援として、教職員のほかに、スクールカウンセラーや生徒サポーター、子ども寄添支援員、教育相談支援員等の方々に、1人1人に対応した支援を行っている。
3 本市が会員としてかわっている沖縄県居住支援協議会において、民間賃貸住宅への住宅確保要配慮者の入



介護予防でリズム体操

□市長・関係部長
1 ①今年度、施設の実施設設計と既存校舎等の解体工事を行う。来年度より建設工事に着手し平成33年度の開館を予定している。今後の課題として交通渋滞を懸念する声があり、市民の不安にしっかりと説明していく。
② ご提案の説明会を含め、どのようにしたら市民のご理解を得られる方法があるかというところを知恵を絞って取り組んでいきたい。
2 去る7月に県が示した子ども医療費助成制度の新たな6つの見

直し案について、本市としては、就学前までを対象として現物給付方式を導入した上で、一部自己負担金の徴収は制度自体を複雑にすることから、一部自己負担金の廃止を県に要望している。
3 今後の財政見通しは、国保の累積赤字への対応や生活保護費・福祉サービス等給付費の増大、学校老朽校舎の改修等への対応などで歳出が歳入を上回り、財政調整基金の取り崩しが必要な厳しい財政状況である。そのため、市税収入の拡充や公有

財産の売却などによる歳入確保の取り組み、人件費の削減や予算執行段階での歳出抑制、普通建設事業費等の抑制などで歳出削減を図り、持続可能な財政運営を行っている。



新市民会館建設について様々な意見がある

協働によるまちづくりの取り組みについて

なはの翼f協働

上原 仙子



「幹事会だより」で全職員に周知を図っている。

② 校区まちづくり協議会は、現在、市内6小学校区で協議会が設立されている。また、去る8月に、小緑南小学校区と城西小学校区において協議会準備会が設立された。今後、市内全域に校区まちづくり協議会の設立を目指し、協働のすそ野を広げていきたい。

① 協働によるまちづくりに向けて、全庁横断的な推進体制を構築するために、行政内部の協働が必要であり、今後の取り組みを伺う。

② 校区まちづくり協議会

① 協働に対する全庁的な取り組みとして、部長クラスで構成する那覇市協働によるまちづくり推進部会、副部長クラスで構成する那覇市協働によるまちづくり推進部会幹事会を定期的に開催し、連携を図っている。また、



協働によるまちづくりの拠点施設「なは市民協働プラザ」(那覇市銘苅)

市民会館の休館状態による市民不利益の解消を

なはの翼f協働

坂井 浩二



民の皆様の安全・安心を期すため、昨年10月から休館に至った。平成25年度から27年度における3年間の平均利用件数は、大ホールが169件、中ホールが174件、和室が175件、会議室が121件の合計639件である。

施設を利用してきた多くの皆様に不便をかけることになり、申し訳なく思っている。

また昨年10月に閉館してから今後開館するまで長期間を要するが、計画の見通しが甘かったのではないかと見解を伺う。

関係部長

那覇市民会館は建築後47年が経過して、経年に伴う建物及び設備の老朽化が著しい状況にあった。耐震診断結果や設備の状況を踏まえ、ご利用いただく市



平成28年10月に休館した那覇市民会館

市民のニーズに応えられる人材育成を

無所属の会

中村 圭介



1 時代の変化に対応するために必要に応じて長期間異動しない職員または専任職員を増やしてはどうか問う。

2 本市が目指す職員像に近づけるため、なは市民協働大学に研修として職員の参加を促してはどうか問う。

関係部長

1 本市には、さまざまな内容や勤務形態の業務があり、多種多様な職務経験を蓄積し、

2 なは市民協働大学

関係部長

1 市道において、歩道の幅員が広く上屋の設置が可能なバス停留所は46カ所、そのうちの37カ所は設置済みである。未設置の9カ所については引き続き整備に向けて取り組みたい。

2 久茂地小学校の統廃合に伴う文教地区の見直し及び跡地利用を契機として、周辺環境の変化が予想されることから、那覇市都市計画マスタープランにおけるまちづくりや道路

バス停留所の上屋の設置状況、新文化芸術発信拠点施設等について

維新・無所属の会

當間 安則



1 市内バス停留所の上屋の設置状況と取り組みについて伺う。

2 新文化芸術発信拠点施設における、周辺道路整備の通り会、住民合意について伺う。

3 学校施設の耐震化について、課題を伺う。



「おもろまち四丁目」バス停留所の上屋



なは市民協働大学の受講風景

用語の解説

条 例

地方公共団体が、自治権に基づき、議会の議決によって制定する自主法です。本市では「めんそーれ那覇市観光振興条例」や「那覇市ハブ対策条例」などがあります。

待機児童

保育所への入所申請がなされており入所条件を満たしているにもかかわらず、保育所に入所できない状態にある児童のこと。なお、保護者が求職活動をする事なく保育の必要性が認められない場合などは待機児童数として算定していません。

那覇市議会の活動をホームページで公開しています。

アクセス方法

「那覇市議会」で検索してください。
<http://www.gikai.city.naha.okinawa.jp/>
または、那覇市ホームページの【那覇市議会】からもアクセスできます。



放課後児童クラブと保育の充実について



前田千尋
(日本共産党)

保育料について問う。

関係部長

1 1、2年生を対象に実施しており、現在282人、6・6%。

1 党市議団が提案し実現した放課後児童クラブのひとり親と生活保護世帯の保育料の約半分の減免となる対象者と割合について問う。

2 軽減事業を知ることであることを検討できる世帯もある。小学校や入学前の周知を広げるべきである。

3 夜間保育の認可保育園の拡充と保育料軽減策支援が必要である。

2 放課後児童クラブの潜在的ニーズはあり、提案のように広く周知できる方法を検討する。

3 夜間保育のニーズはある。保育料は認可で1歳児1万5600円、3歳児1万3200円。夜間で認可外は1歳児2万7千円、3歳児2万2857円。実態を踏まえてサービスと課題を整理する。

特別支援学校、障がい者の就労支援について



当間安則
(維新・無所属の会)

1 2021年度開校を目指す本市内に新設する特別支援学校に、市外に通う障がい者を持つ保護者より大変期待の声が上がっている。入学対象者を問う。

2 障がい者の就労支援について、就労移行支援の利用できる期限について問う。

関係部長

1 県立那覇A特別支援学校（仮称）学校設置基本方針では、知的

1 医療と介護の連携における状況と課題について問う。

2 本市の介護認定にかかる日数とその期間短縮への課題を問う。

関係部長

1 医療と介護の連携

2 本市の介護認定にか

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長



野原嘉孝
(公明党)

医療と介護の連携及び介護認定の期間短縮への課題となつて

2 本市の認定結果がでるまでの平均日数は平成28年度で43・2日となつて

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向



大嶺亮二
(自民党)

真和志庁舎、中央図書館、その他施設も取り入れた複合的施設を

1 現市民会館を残り

2 現市民会館の跡地

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保



奥間亮
(自民党)

子育て支援のさらなる充実を

1 妊婦歯科健診と、

2 現市民会館の跡地

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

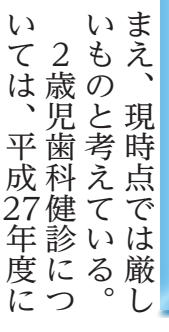
4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保



平良識子
(ニライ)

日中韓の「東アジア文化都市」事業の本市開催を

1 那覇市行政100

2 現市民会館の跡地

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保

4 公募に対しての応募の意向

関係部長

1 2カ所の地域包括

2 就労移行支援にお

3 夜間保育の認可保



災害時に備え、外部機関との連携、意思疎通を



山本孝夫
(自民党)

那覇市の防災行政について伺う。

- ① 地域防災マネージャー制度の検討状況
- ② 物資輸送では、那覇港が那覇市の生命線である。当局の見解
- ③ 防災担当マネージャー、自衛隊の港湾使用も積極的に事前準備すべきではないか。

市長・関係部長

- ① 防災士資格取得などの職員育成や全庁的

障がいのある方の全員が就労を継続



西中間久枝
(日本共産党)

- 1 障がい者ジョブサポーター等派遣事業の概要と効果を問う。
- 2 末吉公園内の子ども遊具、東屋の使用禁止について見解を問う。
- 3 歴史散歩道関連整備事業によるデザインマンホールふた等の設置事業の概要と今後の計画について問う。

関係部長

- 1 サポーターが、2人1組で、求職や就労

東日本大震災後における避難者、被災地への対応



多和田栄子
(二ライ)

- ① 市営住宅への避難

者受け入れ状況

- ② 被災者に対する義援金の総額
- ③ 本市職員の被災地派遣の取り組み状況

関係部長

- ① 東日本大震災後に避難してきた方々が、市営住宅に、7世帯の15人、入居している。
- ② 義援金については、震災直後から受け付けを開始して、本年9月

真和志支所の建て替えについて



上原安夫
(日本共産党)

- 1 老朽化した真和志支所の建て替えについて、真和志自治会長連絡協議会から要望書が提出されている。複合施設として早期の建て替えについて問う。
- 2 与儀公園内の白い柵が一部錆びて危険である。安全対策と樹木の伐採について問う。
- 3 小緑小学校の耐震化事業と鏡原中学校の体育館改築の進捗状況

新文化芸術発信拠点施設(新市民会館)について



新崎進也
(維新・無所属の会)

- 1 久茂地地域近隣の方々にきちんとした建設内容の説明はしているのか。地域の声が反映されているのか伺う。
- 2 臓器移植及び臓器提供意思表示カード記入などの呼びかけにつ

1日現在、総額480万円余が本市へ寄せられ、被災地へ送金している。

- ③ 大震災発生直後には、消防職員、上下水道局職員、保健師を延べ30人派遣した。

平成24年度からは中長期的に職員派遣を実施しており、宮城県多賀城市に技術職員1人を毎年派遣している。

関係部長

- 1 現在、新真和志支所等建設に関する検討委員会がホールを備えた中央公民館、図書館機能等を併せ持つ複合施設を基本として、検討を行っている。
- 2 与儀公園内の老朽化した柵は速やかに撤去し、樹木は公園美化に配慮した剪定作業を行っている。
- 3 小緑小学校の耐震補強工事と鏡原中学校体育館改築は、平成30年度内の完成を予定。

関係部長

- 1 さまざまな方を対象にフォーラムやワークショップ、シンポジウムなどを延べ17回開催し、延べ約680人の方にご参加いただき、これまでの計画に反映させてきた。
- 2 臓器提供に関する意識の向上が重要と考

えているため、市民や職員に対し、臓器提供に関するパンフレットの配布、ポスター掲示を行うなど、普及啓発に努めている。本市と

新都心地区に図書館建設を



上里直司
(なはの翼f協働)

- ① 新都心地区の人口増加などの状況を鑑みて、新たに図書館建設計画に着手すべきと考える。見解を伺う。
- ② 現在の県立図書館が旭橋都市開発地域に建て替える予定であり、その跡地利用に市立中央図書館が活用できるように、県に要請すべきではないか。

関係部長

- ① 平成25年7月に

災害時における市民と行政の相互の情報伝達について



中村圭介
(無所属の会)

- 本市のツイッターアカウント、那覇市防災が行った災害時ツイッター活用訓練について評価を問う

関係部長

- 市の防災に関する情報、災害時の緊急情報等を発信し、より多くの市民等に防災等に関する情報を発信することとを目的として、平成29年6月から那覇市防災ツイッターを運用している。同訓練は、本

ヘルプマーク、手話言語条例について



大城幼子
(公明党)

- 1 障がい等を抱えている人が、緊急時に提示して周囲の配慮や手助けをお願いしやすくする「ヘルプマーク」がある。このマークが入ったカードを製作する自治体が増えてきているが、那覇市はどのように認識しているか。
- 2 平成28年4月1日から施行された沖縄県手話言語条例について、那覇市の取り組みの中

関係部長

- 1 ヘルプカードは緊急時において支援が必要な方々にとって、非常に有効なツールであると認識している。本市においても今後調査研究していきたい。
- 2 本市では現在手話通訳者養成講座を実施している。手話を普及啓発する施策については、県条例で毎月第3水曜日を手話推進の日と定めていることから、その周知等にも取り組んでいきたい。

健康づくりに取り組む意識を促し、健康づくりの習慣化を



吉嶺努
(自民党)

- 1 健康な21の広報活動は、どのように行われているか。
- 2 健康づくりポイント制度の参加者はどれくらいか。
- 3 NAAH Aマラソンでの車いすマラソンの開催を検討するか。
- 4 未成年を対象とした健康教育はどのような行われているか。

関係部長

- 1 フェイスブックを



本市の水産業の発展、髯髷のために泊漁市場・泊いまち帯の再整備促進を



宮里 昇
(日本共産党)

1 泊漁市場・泊いまち帯の再整備を積極的に推進すべき。見解を伺う。

2 公園遊具の整備と公園トイレの洋式化を問う。

3 歩行に支障がある若狭町の歩道の改善を。

関係部長

1 泊魚市場を本市水産業の拠点として発展させるため、5年程度で再整備計画を作成し、

その後、中長期で再整備を実施することを目指す。現在、衛生面や漁港の狭隘性といった課題への対応について検討を進めている。引き続き漁業関係者を中心とする皆様の意見を伺いながら水産業の拠点として大きく発展するよう取り組む。

2 安謝東原公園、曙公園は順次対応していく。旭ヶ丘公園等を含め洋式化を進めていく。

3 修繕を行い、歩行者通行の安全確保に努める。

大名児童館の指定管理者について



大浜 安史
(公明党)

1 平成30年度以降の大名児童館の指定管理者制度について、その予定を伺う。

2 首里石嶺町4丁目地区の浸水対策事業について、今後の取り組みを伺う。

関係部長

1 平成30年度に屋根の大規模な改修工事を予定しているため、管理運営は直営とする予定である。平成31年度

からの新たな指定管理者の指定に向けた手続きは、平成30年度に実施する予定である。

2 今年度末までに6件の物件を補償し、11筆の用地を取得する予定。用地取得については、平成30年度までには終える見込みである。

現在、雨水調整池の建設工事に向け詳細設計を進めており、平成30年度後半に工事を着手、平成32年度には工事を完了したいと考えている。

老人ホームへの入所待ちの高齢者の解消を



坂井 浩一
(なはの翼 f 協働)

1 特別養護老人ホームへの入所待ちの高齢者の解消を図るべく、本市はどのような取り組みを行い、今後、どのような解消策を図っていくのか伺う。

2 本市の消防団員は、定員120人に対し現状は80人であり、人員不足である。人員増の取り組みについて伺う。

1 平成28年度に広域

型特別養護老人ホームを2カ所開設した。今後は、平成29年度末までに地域密着型特別養護老人ホーム5施設の整備を計画している。



湧川 朝渉
(日本共産党)

1 全ての小中学校で、タイムカードによる勤務管理を実施すべき。教員定数に占める正規職員の割合について、見解を伺う。

2 神原出張所の救急隊の増隊への取り組みについて、決意を伺う。

3 良好な眺望景観を守るための取り組みについて、見解を問う。

関係部長

1 市内全小中学校へ

市内全小中学校にタイムレコーダーを

のタイムレコーダーの導入に向けて検討する。教員は、将来を担う人材を育成するという使命と職責の重要性に鑑み、正規職員をもって充てることが望ましい。

2 神原出張所への救急増隊は、2019年1月を予定。所要の人員確保に向けて関係部局との調整を進めてる。

3 先進都市の事例等を調査研究し、専門家の意見を聞き、関係部署との連携を図り、眺望景観の保全に取り組む。

市長の政治姿勢について



宮平 のり子
(二ノライ)

1 8月、社民党全国自治体議員団全国会議が那覇市内で開催され、在沖米海兵隊の撤退を求める決議をした。この決議について、市長の見解を伺う。

2 佐藤惣之助詩歌碑の移設について、多くの川崎市民の署名を添えて陳情があるが、移設への決意を伺う。

1 副市長・関係部長

1 決議では、県外・

本市の窓口対応、小緑地域の道路整備



上原 仙子
(なはの翼 f 協働)

1 市役所の窓口業務で障がいのある方に対応する取り組みを伺う。

2 市道小緑88号（小緑泉原・琉球団地内）の道路整備について、地域住民との合意形成の経過と工事日程を伺う。

関係部長

1 市役所を訪れた障がいのある方への適切な対応を職員へ周知する取り組みとして、本

国外移転について議論を始めることが盛り込まれ、一歩踏み込んだものとなっていることから、これまで過重な基地負担を強いられてきた沖縄県民に寄り添った内容であると感じている。

2 川崎市の皆さまの温かい心が、友好都市締結などの礎になっていると思うっており、この詩歌碑を多くの方に見てもらいたいというのを重点に、精力的に交渉している最中である。

市営住宅募集条件の緩和見直しを



前泊 美紀
(無所属の会)

県営住宅入居者募集のしおりで連帯保証人の条件を県条例に明示のない年収200万円以上等と記載されていたことに関する報道等の指摘を受け、県は「入居決定者と同程度の収入を有する連帯保証人を1人」と記載を改めた。

市営住宅入居者募集のしおりにも、県の改定前と同様の記載がある。

市営住宅入居者募集のしおりにも、県の改定前と同様の記載がある。

市営住宅入居者募集のしおりにも、県の改定前と同様の記載がある。

車いすマラソン、那覇市で開催を



下地 敏男
(二ノライ)

1 車いすマラソンは感動と希望を与えるものであり、本市で取り組む意義も大きい。実施について見解を伺う。

2 北朝鮮の弾道ミサイル発射、核開発及び実験に対する米朝の非難の応酬が繰り返され、平和が脅かされている。核兵器廃絶平和都市宣言した本市の首長として見解を伺う。

関係部長

1 車いすマラソンの意義を高く評価するが、多くの課題が想定されるため、調査研究していきたい。

2 本市では昭和61年の核兵器廃絶平和都市宣言など、恒久平和を希求する姿勢を発信する取り組みを行ってきたところである。

本庁舎において、議員のご指摘を受けて、正面玄関右側の電子掲示板にて核兵器廃絶平和都市宣言の告知表示ができるように取り組んでいきたい。



【市花】ブーゲンビレア
ブラジル原産のツル性花木。土壌適応性が広くて乾燥にも強く、鉢植えやビルの壁面緑化、垣根などに幅広く利用できます。



【市木】フクギ
幸福や繁栄をもたらすとされる常緑高木。暴風・防災樹にもなり、樹液は古くから植物染料として利用されています。



【市花木】ホウオウボク
花が中国の伝説の鳥、鳳凰に似ているため付けられたマダガスカル原産の花木



道路行政・防犯行政について



仲松 寛
(無所属)

- 1 道路行政について
① 古波蔵上線道路整備について伺う。
② 漫湖公園水路歩道安全柵設置の進捗状況について伺う。
2 那覇市における防犯灯・カメラ設置計画について伺う。

関係部長

- 1 ① 同道路は、昭和31年の都市計画決定から60年経過している。今後強く要望をして、

早期着手できるようにしたい。

- ② 現時点で改修予定延長の約900mのうち約810mについて改修を完了しており、残りは、次年度に改修を終える予定である。
2 現在、第1次募集期間中に受け付けた約600灯については、現場調査を完了しており、工事発注に向けて関係団体と調整をして

モノレール旭橋駅周辺地区再開発事業について



系数 昌洋
(公明党)

- ① 事業の進捗状況
② 利用者数見込み、駐車場等確保について
③ 泉崎一丁目周辺道路に与える影響と対策

関係部長

- ① バスターミナルがある北工区の8月末の進捗率は約50%で順調に工事が進んでいる。ターミナルの機能再編と県立図書館などの県の公益施設や商業施設、駐車場等の再開発ビル



栗園 彰
(自民党)

- 1 那覇採択地域協議会が道徳教科書（教育出版）を採択した経緯について伺う。
2 中学生の段階でピロリ菌を除菌できれば、がん予防の効果は高いと聞いているが、見解について伺う。

関係部長

- 1 教科用図書那覇採択地区協議会の中には、理事会、選定委員会及び教科用図書研究会が

道徳教科書の採択、ピロリ菌検査について

置かれている。

- 選定委員会においては、研究委員がまとめた調査資料、プレゼン資料、巡回展示会での議論をまとめた意見書をもとに協議し教科書を決定している。
2 中学生という若い段階で早期発見し、除菌治療を行うことは、ピロリ菌による胃がんの発症リスクを下げる

発達障がい児・者支援としてのサポートカードについて



喜舎場 盛三
(公明党)

- 去る2月議会で提案した、発達障がい児・者のコミュニケーションに関する支援として、サポートカード事業を他市で実施している。

関係部長

- 特徴が記載されたサポートカードを本人が所持して他人に提示することにより、本人に対する理解が深まる。本市でも事業実施について検討するとの答弁であったが、その後

検討したのか伺う。

関係部長

- サポートカードについては、先進事例を踏まえ、非常に有用であると判断している。本市においても、現在、発行準備に取りかかっており、今年度中に発行したいと考えている。また、療育手帳等の所持にかかわらず、利用を希望する方へも配布を予定しており、利用希望者のお手元に届きやすいよう、関係部署や関係機関等での配布も検討している。

環境行政について



奥間 綾乃
(無所属)

- 那覇市ごみのポイ捨て防止による環境美化促進条例が施行されているが、美化促進重点地域に指定されている国際通り・沖縄通り周辺地域においても、ごみの散乱が多く見受けられる。以下伺う。

関係部長

- ① 同条例において、自動販売機の設置業者による回収容器設置の義務が定められているが、適切に行われている

ない箇所が多数見受けられる。市長は勧告を実施してきたか、また、その命令に違反した者に対し過料処分を行ったことがあるのか伺う。

- ② 今後の取り組み、課題について伺う。

関係部長

- ① これまで条例に基づいた勧告や過料処分実施の事例はない。
② パトロール等を通して実態把握を行い、不適切な管理の自動販売機設置業者への指導を通して改善へとつながっていききたい。

幼稚園の給食実施、学校トイレの洋式化の状況



清水 磨男
(三ライ)

- 1 幼稚園における給食実施の状況を伺う。
2 学校のトイレの洋式化の状況を伺う。

関係部長

- 1 幼稚園の給食実施は、全ての幼稚園を認定こども園へ移行する本市の計画に基づき、認定こども園への移行に伴い実施している。給食の提供方法は、認定こども園への移行を行った10園で、自園

での調理のほか、近隣の保育園や給食提供事業者からの外部搬入により実施している。

- 栄養士の配置等についても意見交換をして、移行完了予定の平成31年度には全ての園で給食を実施予定である。
2 本市では本年8月時点で、小学校のトイレは約34%、中学校約36%で洋式化している。今後は、トイレの洋式化について計画的に取り組めるよう、事業化に向けて関係部署と調整していききたい。

浸水被害軽減施設の二日も早い完成を



古堅 茂治
(日本共産党)

- 1 首里石嶺町の浸水被害住民の切実な声に応え、浸水被害軽減雨水貯留施設建設を前倒しで1日も早く完成を。
2 石嶺小学校の改築と合築する児童クラブ専用舎の建設を問う。
3 「1日（半日）保育士・幼稚園教諭体験」事業の導入を求める。
4 認知症対策を問う。

関係部長

- 1 浸水被害を軽減す

るために1日でも早い施設の完成を目指し、事業を執行する。

- 2 平成30年度に着手し、平成31年度に完成予定である。
3 保護者や地域の子育て力向上につながることを考える。先進都市の事例等を参考に調査・研究をしていく。
4 どこにいても本人らしく尊厳を持って医療・福祉・介護が切れ目なく提供できるよう地域住民や関係機関等のネットワーク構築に取り組んでいく。

U字型ごみ袋導入及び認知症対策事業について



桑江 豊
(公明党)

- 1 U字型ごみ袋導入について、去る6月定例会で、本員の質問に対し「今年度内に燃や

関係部長

- 1 導入するU字型ご

み袋は、燃やすごみ袋の「中」とし、10枚1組220円の案とした。

- 来年3月には市民が購入できるよう取り組み、今後は「取っ付きごみ袋」という名称を使用していききたい。
2 今後も教育委員会や小中学校と連携しながら、拡充に努めていきたいと思う。総合的な学習の時間において、認知症サポーター要請講座の開催も考慮しながら、認知症への理解を深めた福祉教育の充実に取り組みたい。

12月定例会は
12月1日(金)に開催予定です。

市議会だよりと会議録は那覇市
議会ホームページでご覧いただけます。

那覇市議会だよりに関するお問い合わせは議会事務局調査法制課まで

TEL 862・8194



◇9月定例会で可決・認定。

同意された主な議案

- ▽那覇市廃棄物の減量化の推進及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例制定について
 - ▽那覇市手数料条例の一部を改正する条例制定について
 - ▽那覇市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について
 - ▽平成29年度那覇市一般会計補正予算（第2号）ほか補正予算6件
 - ▽平成28年度那覇市一般会計歳入歳出決算ほか歳入歳出決算7件
 - ▽工事請負契約について（高良小学校校舎改築工事）
 - ▽那覇市農業委員会委員の選任について
- ※すべての議決結果について
那覇市議会ホームページで確認できます。

新文化芸術発信拠点施設整備事業（新市民会館）の補正予算について修正案を可決

平成29年度那覇市一般会計補正予算（第2号）のうち久茂地小学校跡地に計画している新文化芸術発信拠点施設（新市民会館）の整備事業の補正予算について、予算決算常任委員会において、各委員から執行部に対して、様々な質疑がありました。

総括質疑終了後の採決に先立ち、委員から、修正案が提出されました。修正案は、新文化芸術発信拠点施設整備事業の予算を減額して予備費に計上する内容です。

修正案に対する活発な質疑の終了後、修正案及び原案に対する討論が行われましたが、採決の結果、修正案が賛成多数で可決されました。

その後、本会議においても同じく賛成多数で可決されました。

9月定例会常任委員会の審査概要

総務常任委員会

那覇市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例制定について、当局から、雇用保険法の一部改正により、国家公務員に対する失業者の退職手当について定めた規定の改正に準じて同様の措置を講ずる提案である。社会保険制度として雇用保険は広く国民に保障すべきという観点で、国家公務員において雇用保険の失業給付と同程度である失業者の退職手当制度が設けられており、本市もこれに準拠して制度を設けているとの説明がありました。

教育福祉常任委員会

高良小学校改築工事について、委員から、同小学校は袋小路にある学校であり、子ども達の安全な通学と、工事車両の搬入について、どのように対応するのか、との質疑がありました。当局から、安全性を確保するためにも、工事現場の出入口以外に誘導員を配置し、子ども達の安全を確保したいと考えている。また、車両の進入についても、通学時間帯を避けて通行するなど、細心の注意を払って進めていきたいとの答弁がありました。

建設常任委員会

浦添市の公共下水道を那覇市の住民の利用に供させることについて、当局から、浦添市前田と隣接する石嶺町4丁目区域の汚水は、協議により、すでに浦添市の公共下水道を経由して、再度、本市の公共下水道に排水されている。今回の協議箇所は、新たに開発行為で宅地化をする箇所であり、地形的に浦添市の公共下水道を経由しなければ排水できないことから、浦添市との協議を行い、議会の議決を経る必要があるため提案するものである、との説明がありました。

厚生経済常任委員会

那覇市廃棄物の減量化の推進及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例制定について、当局から、資源化物の無断持ち去り行為に対する罰則の上限額を1万円から5万円に引き上げる内容である、と説明がありました。

また陳情について、「佐藤惣之助詩歌碑」の移設に関することについて『の陳情が採択され、『「虎瀬公園」名称を「虎頭山の御殿公園」に改称し「佐藤惣之助の詩碑」を現在ある場所に残すとともに同公園と同詩碑を那覇市の文化財に指定することについて』の陳情は不採択となりました。

予算決算常任委員会

平成29年度那覇市一般会計補正予算（第2号）の修正案が可決され、修正案を除く議案は原案のとおり可決されました。また、平成28年度那覇市一般会計歳入歳出決算は賛成多数により認定すべきと決しました。

総務分科会

社会保障・税に関する番号制度（マイナンバー制度）対応事業の補正予算について、当局から、システム整備は昨年度で全て完了したが今年6月に国からレイアウトの改訂版が公開され、その改訂に対応するために、障害者福祉システム、児童福祉システム、国民健康保険システムなど関連するシステムの改修が必要となり、委託料を計上する、との説明がありました。

また、平成28年度決算に関する、那覇市コンビニAEDステーション設置事業について、委員から、外国人のコンビニ店員が増えているが周知を行っているか、との質疑がありました。

当局から、出前講座という形でAEDの取り扱いの訓練を実施している、との答弁がありました。

建設分科会

亜熱帯庭園都市の道路美化事業の補正予算増額について、当局から、天久安里線植栽工事の実施区間を前倒しして当該路線の早期の整備を図る、との説明がありました。

委員から、花が綺麗に咲き、うるおいのある観光都市に向けて、当該事業をさらに進めるよう要望がありました。

また、平成28年度決算に関する、民間建築物耐震化促進事業について、委員から質疑がありました。

当局から、補助金申請を予定していたホテルが、リニューアルと耐震改修を同時に行うこととなり、計画を先延ばしして申請をしなかったので予算を減額した、との説明がありました。

教育福祉分科会

学校耐震化事業の補正予算について、当局から、耐震改修に係る実施設計で補強箇所が増加したので工事請負費を増額すると説明がありました。それに対して委員から質疑がありました。

当局からは、建物固有のバランス等、耐震性が個別に異なっており、各々確認を行い工事費を算定した結果、当初の想定より多くの変更が生じたとの説明がありました。

また、平成28年度決算に関する、認定こども園の運営について、委員から質疑がありました。

当局から、平成28年度から開始した認定こども園について、給食の提供や土曜日の預かり保育など、保護者から高い評価を受けている、との答弁がありました。

厚生経済分科会

貸切バス路上混雑対策事業の補正予算について、委員から、同事業の終了後に市内における貸切バスの待機場の設置場所を検討しているのか、との質疑がありました。

当局から、那覇港湾施設内にある仮設のバスターミナルで継続して利用することが可能なのが那覇港管理組合との調整に向けて準備を進めている、との答弁がありました。

また、平成28年度決算に関する、生活衛生監視指導事業について、委員から、民泊に対する取り組み状況について質疑がありました。

当局から、民泊施設は場所を特定することが非常に困難で対応に苦慮しているが、市民からの情報等をもとに民泊業者を特定して監視・指導している、との答弁がありました。

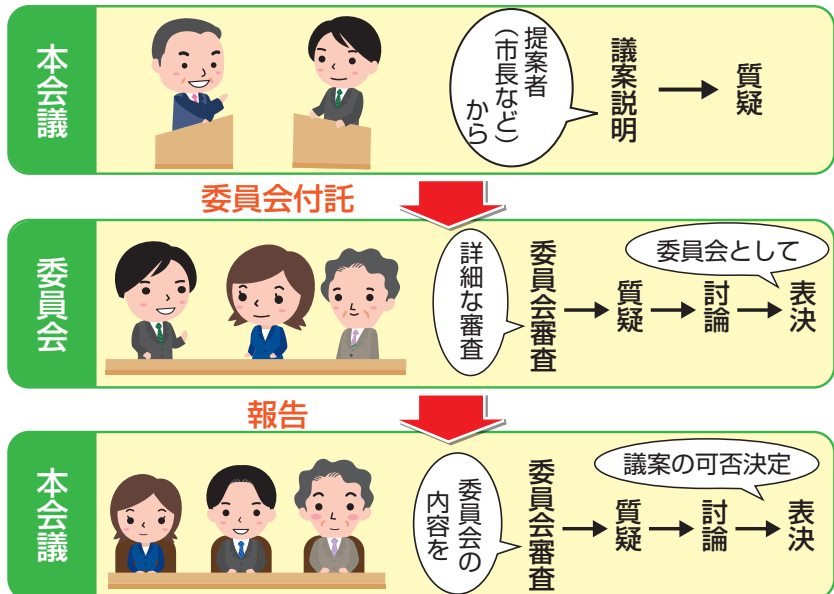
議会改革推進会議と3部会について

那覇市議会では、議会基本条例で定めた事項の着実な推進を図るとともに、継続的な議会改革に取り組むことを目的に、議員による推進組織を設置しています。

議会改革推進会議のもとに、推進部会として3部会を設置しており、議員改選に伴い新たに任命されました。

那覇市議会改革推進会議					
座長 金 城 眞 徳			座長補佐 前 泊 美 紀		
當 間 安 則		上 原 快 佐		古 堅 茂 治	
糸 数 昌 洋		上 里 直 司		奥 間 亮	
		湧 川 朝 涉（議会改革部会長）			
		中 村 圭 介（広報参画部会長）			
		清 水 磨 男（政策検討部会長）			
議会改革部会					
部会長 湧 川 朝 涉			部会長補佐 大 嶺 亮 二		
西中間 久 枝		仲 松 寛		下 地 敏 男	
多和田 栄 子		小波津 潮		喜舎場 盛 三	
平 良 識 子		栗 國 彰			
広報参画部会					
部会長 中 村 圭 介			部会長補佐 上 原 仙 子		
永 山 盛太郎		翁 長 雄 治		上 原 安 夫	
前 田 千 尋		野 原 嘉 孝		新 垣 淑 豊	
大 浜 安 史		久 高 友 弘			
政策検討部会					
部会長 清 水 磨 男			部会長補佐 吉 嶺 努		
奥 間 綾 乃		新 崎 進 也		我如古 一 郎	
宮 里 昇		大 城 幼 子		宮 平 のり子	
桑 江 豊		坂 井 浩 二		大 山 孝 夫	

議会の流れ（議案審査等）



※議案とは：議会の議決を要する事項で、市長や議員等が議長に提出する案件のことです。
(例：条例、予算、人事案件、意見書、決議等があります)

「第5次那覇市総合計画」基本計画に関する所管事務調査、議論

那覇市の最上位計画である「第5次那覇市総合計画」策定に向けて、市議会でも議論を重ねています。

去る9月21日に開催した全員協議会において、執行部から同計画基本計画の説明を受けました。

その後、4常任委員会において、施策ごとに所管事務調査を行い、関係各課に対する質疑、議員間討議において議論を重ねる中、多くの議員から意見が寄せられました。

今後の流れとしては、12月定例会に議案として付議され、審査を行うこととなります。

那覇市の最上位計画としてふさわしい計画となるよう、今後も市議会は積極的に関わっていきます。



「第5次那覇市総合計画」基本計画について市長に提言

第5次那覇市総合計画基本計画（素案）について、4常任委員会で議論を重ねて協議した後、同計画（素案）に対する課題と要望をまとめた提言を市長に報告しました（10月18日）。

市議会からの提言が計画策定に活かされることにより、市民福祉のさらなる向上につながることを願うものです。



議案、認定（全会一致を除く）に対する議員の賛否一覧（9月定例会）

○・・・賛成 ×・・・反対 退・・・退場 議・・・議長は採決に加わりません

◆那覇市議会議員 条例定数40人

議決年月日	議員氏名、等 議案名等	出席者数	表決総数	賛成	反対	議決結果	議席	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
							二二	二二	共産	共産		無属	無属	維無	維無	二二	二二	二二		共産	共産	共産	共産	共産	公明	公明	公明	翼	自民	自民	自民	二二	二二	二二	二二		公明	公明	公明	翼	翼	自民	自民	自民	自民	
							永山盛太郎	翁長雄治	奥間綾乃	上原安夫	西中間久枝	仲松圭寛	中村圭介	前泊美紀	當間安則	新崎進也	上原快佐	下地敏男	多和田栄子	小波津潮	古堅茂治	湧川朝渉	我如古一郎	前田千尋	宮里昇	喜舎場盛三	野原嘉孝	大城幼子	上原仙子	大嶺亮二	吉嶺努	新垣淑豊	清水磨男	金城眞徳	平良識子	宮平のり子	翁長俊英	桑江昌豊	糸数昌洋	大浜安史	上里直司	坂井浩二	大山孝夫	奥間亮	栗國彰	久高友弘
9月25日	平成29年度那覇市一般会計補正予算（第2号）の修正案（新文化芸術発信拠点施設整備事業費を減額し、予備費に計上する）	40	38	22	16	可決	×	×	○	×	×	退	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月4日	平成28年度那覇市一般会計歳入歳出決算	40	39	31	8	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	×	×

会派名略称 二ノ：二ノライ 共産：日本共産党 自民：自民党 公明：公明党 翼：なはの翼 f 協働 維無：維新・無所属の会 無属：無所属の会 ※会派無所属は表示なし

第10回 那覇市議会報告会と市民との意見交換会



11月20日（月） 午後7時～8時30分	
開催場所	
本庁地区 真和志地区	ほしぞら公民館 沖縄大学 3号館1階大講義室
11月21日（火） 午後7時～8時30分	
開催場所	
小禄地区 首里地区	JA小禄ホール 首里支所会議室

プログラム

第1部 議会報告会 （午後7時～7時25分）

- ・平成28年度決算について
- ・委員会審査結果報告

第2部 意見交換会 （午後7時25分～午後8時30分）

今回は、第1部で平成28年度決算等を議決した9月定例会の報告、その後、第2部で市民との意見交換会を予定しています。多くのみなさまのご参加お待ちしております！

各会場、駐車スペースには限りがありますので、公共交通機関のご利用にご協力下さい。

手話

手話通訳をご希望の方は、
11月6日（月）までに那覇市議会事務局へ
ご連絡ください。

那覇市議会事務局

お問い合わせ先

TEL 098-862-8194 FAX 098-862-8296

サイト: <http://www.gikai.city.naha.okinawa.jp/>



はいさい！はいたい！

那覇市議会で一びる。みなさまの声を聞かせてください。
ご参加お待ちしております！



那覇市議会ホームページの議会インターネット中継では開催中の本会議と
予算決算常任委員会が視聴できます。過去に開催された会議も録画で視聴
できます。（スマートフォン、タブレットでも視聴できます）



★那覇市議会ホームページ <http://www.gikai.city.naha.okinawa.jp/>
「政務活動費」ボタンをクリック

編集後記

（10月17日）
今年の夏は例年以上に猛暑の
日々が続いて、涼風の流れる秋の
到来を待ちわびる今日この頃です。
議員改選に伴う新たな顔ぶれの編
集委員会では、活発な意見交換と
提案がありました。
市議会だより
を通して、
より良い那覇
市のまちづく
りにつながる
よう、編集委
員一同、工夫
を凝らした紙
面づくりに取
り組んでいき
ます。

